



子 3
3672





春
 年
 月
 日

孔
 氏
 畫


門子3
 號3672
 卷

江
 湖
 一
 枝
 湖
 上
 孤
 山
 暗
 香
 可
 掬
 珠
 影
 羅
 翠
 可
 亦
 章



孔
漁
印

福壽

あゝ玉の〜〜の福業

祿のよ字の生中よ

子日と休野道よ小和の文

の海も賢者乃乃



又二の〜と〜と梅を

の〜と〜と〜と二

生酔乃私者〜大

と〜ら〜と〜と〜にけ

あはれなる心

梅のつぼみ

春のふゆ

まはる

柱まはる

い

一刺と千金

一万両

ろくろは六指子心百部の岸

松は船や水乃利も梶

まゆは糸眉髪二つあり

おのゝこゝろみちるれ

おのゝこゝろみちるれ 細見り

おのゝこゝろみちるれ

おのゝこゝろみちるれ 袖の

おのゝこゝろみちるれ

志如松のこころをわすれぬ

こころをわすれぬ

風のこころをわすれぬ

こころをわすれぬ

一 志人のこころをわすれぬ 上野山

志人のこころをわすれぬ

上 志人のこころをわすれぬ

志人のこころをわすれぬ

慈悲心之伴は増し一年の

ほらほらとあはれとあはれと

あはれとあはれとあはれと

甲斐の山はあはれとあはれと

下谷の山はあはれとあはれと

あはれとあはれとあはれと

あはれとあはれとあはれと

あはれとあはれとあはれと

多子能少少起金坡

碎你千条散星

分有出庄引刺水

兼甚少清日

多

司味草

孔
黄



何れも美を嗜するあり

あはれ

ほ徳大寺の者所の記

いふは心からいふ事

あはれあはれあはれあはれ

鎌倉のあはれあはれあはれ

あはれあはれあはれあはれ

あはれ

あはれあはれあはれあはれ

あはれあはれあはれあはれ

あはれあはれあはれあはれ

来々々々々々々々々々々々
の此れ此れ此れ此れ此れ
人々々々々々々々々々々々
きくくくくくくくくくく

早々々々々々々々々々々々
通々々々々々々々々々々々
仙人

五月雨々々々々々々々々々々
水々々々々々々々々々々々

惟光うららあきくよ暮美の
いふくまうく顔の花

梅子の后のお名こころあぐ

まうくくあきくあきくあきく

いふくあきくあきくあきく

あきくあきくあきくあきく
あきくあきくあきくあきく

あきくあきくあきくあきく

あきくあきくあきくあきく

まふりくゝと強く強く
氷室
ひんがしにひんがし

質さふち一地球の出干

まふりくゝと強く強く
氷室

ひんがしにひんがし
まふりくゝと強く強く

まふりくゝと強く強く
氷室

九曲湾级汝之官

白空舟遠半鄉

其至舟人上自舟

舟子乃有向新風

吉集

田城



鹿圖



秋のなほくま紅葉の吸草

あまのこきりきりきりきり

ふるのふるのふるのふるの

ふるのふるのふるのふるの

風鈴のふるのふるのふるの

萩乃よのふるのふるのふるの

あふのふるのふるのふるの

牛ふのふるのふるのふるの

おとこ子孫田のきりかへり

きりかへりてはなれり

かきかへりてはなれり

かきかへりてはなれり

かきかへりてはなれり

かきかへりてはなれり

かきかへりてはなれり

かきかへりてはなれり

白川のお園おあし付古粧の
中あししりきりみやまの萩
秋の田のちりほの唐のおあし
よきしりあしりりあし草拵

女弁花 早もさる舞にいらる今
傍正さん。落ぶさん一
大なるのちりくくのあし
しりあしりあしりあし

龍田山ニその枝折の林あり

さしあしこゝろのふしあはれ

大菊さうらゝ相懸糸絢り

ふれゝゝあしあしあしあし

七百の流るゝのあしあしあし

さかた六十如多のあしあし

花流ほりまお甲のふしあし

まらゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ

漢書の上は小波田の月歌

まゝ一箇の月歌

月をまゝの月歌

一箇の月歌

紅葉の秋や海の本舞臺

まゝ今日この秋

まゝの秋

新まゝの秋

論文殊域力有借以行時

間縱然庶幾欲離情

正可剛矣商王和爾

其禁身中攀手編也

時心身以送心神以生靈

西師

孔

漁



神くのるさしちのる日

あつた

馬奈ふ奈ふ時雨ふるさつ

掃除する門のさき

あつた

いそいそいそいそいそ

ん水よりさき酒の市あつた

いそいそいそいそいそ

あつた

駒とく袖うらさきよ世話あつた

坊主合羽乃雪の夕ら水

一しぬり奥女中へるるに
あつたに花のこゝ帽子雪
空と海とつらつた中川の
まうくねらら千きふ

溪のまのうら白松松や柑子
ふくまろ本ら所
こけてまきまかり場の物糺
あつたにいなを秋尾の雪

ありての神武天皇の御代
花の心は人の子を
今さらにはかまへ神武天皇
二千年来りてゆく

年はの今も

い

原走の末の

ありて

雉持東北磔川古官寺送
 雖列樹春林以佳人顯拾習
 不知何草是互男

古
 碑



古
 園

Handwritten text in Arabic script, consisting of approximately five lines of cursive script.

Handwritten text in Arabic script, consisting of approximately five lines of cursive script.

灰吹の青くしるるる
こころのいふはちりるる
あまき瓜のいふはちりるる
いふはちりるる

いふはちりるる
いふはちりるる
いふはちりるる
いふはちりるる
いふはちりるる

子子振

神心算ふ

にうのまふ

ま

替

子子振

おまうおまう

替

おまうおまう

おまうおまう

羊日暮中夜去紅
雨後生以魚買
酒獨多樂王然

安生罷牛背飄風
何律，村笛難難
如信至石生尊

孔
寅
印



富士の裾の表うらにうら甲斐

お北面のりり西り

そら川合の東表の部を

業ふあふに在五中將

る目の鏡さあひて様さる

雪さあふく花もさふく

全善の共あふいしと此さふ

花もさふ—系月もさふ—系

小石松神代のく〜面白
る〜〜〜道

日の暮日の暮のから〜
〜〜〜

世と〜〜〜味

〜の通〜

あ〜〜神代

あ〜〜関

舟月のまゝ年通し神を月

いづれかしくおとよ赤聖

新田をよこし

あまのうきは岸の姫松

雀よのおしんまをうねる

ちりりしんをたかしののち

あまのうへ葉ののちを蜘蛛

舟よしくしんを別あ

念佛とまゝにのせしむ

鬼十八種其の倍

つる九百九十九は

と云九子

九百九十九あり尚齒會

千年の齡のいかに

まゝの十のりかに

美年と云ふは

と云ふは億兆也

蜀山人

山口藏本



